

## 平成 30 年度第 1 回 ISO/TC46 本委員会議事録

1. 日時：2018 年 6 月 20 日（水） 10 時～12 時
2. 場所：日本図書館協会会館 5 階 会議室 2
3. 出席：

委員 宮澤彰	国立情報学研究所名誉教授(委員長)
安形輝	亜細亜大学
大場高志	日本図書館協会
大島薫	国立国会図書館
風間吉之	国立公文書館
中野茂	大日本印刷
保坂裕興	学習院大学
三島崇	経済産業省
光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料：

資料（番号なし）平成 29 年度第 2 回 ISO/TC46 本委員会議事録

資料 1	ISO 国内審議委員会運営規程
資料 2	平成 30 年度 ISO/TC46 投票報告
資料 3	平成 30 年度 ISO/TC46 投票審議
資料 4	TC46 meeting week 総会 3 件、WG 等 6 件会合報告

5. 議題

・ 前回議事録確認

- 1) TC46 国内審議委員会の位置づけについて

宮澤委員長から資料 1 「ISO 国内審議委員会運営規定」に基づいて TC46 国内審議委員会の位置づけについて説明が行われた。この規定は INFOSTA の理事会において承認され 4 月以降に適用されはじめたものである。INFOSTA が ISO/TC46 に対応する国内審議団体として日本工業標準調査会の承認を受け設置する本委員会と各 SC 委員会を位置付けることを明記したものである。

- 2) 投票報告

宮澤委員長より資料 2 に基づいて前回委員会会合から今回までに行われた CIB 投票（委員会内投票）3 件、SR 投票（既存の標準の見直し投票）1 件に関して報告が行われた。CIB 投票の内容は、ISO 3166/MA（国名コードの面テンスエージェンシー）の議長継続、新規メンバーの追加（オーストラリア[SA]、カナダ[SCC]）、CalConnect（カレンダーのアプリケ

ーション周りの国際的なコンソーシアム)がカテゴリ-A のリエゾンとなることであり、すべて承認で投票している。SR 投票の内容は、ISO 3602:1989ver.5 (日本語のローマ字化)について廃止の投票を行った。理由としては、対象範囲を定めない日本語のローマ字化の標準は TC46 が扱うべき範囲を超えるためである。ISO 3602:1989 の成立の経緯について説明がされた。

### 3) 投票審議

宮澤委員長より資料3より、現在行われている投票審議、DIS 投票1件について説明があった。ISO/DIS 8(学術雑誌の構成と識別)の内容は、従来の雑誌を対象としたものを電子ジャーナルまで対象範囲を拡大するものである。この投票に関してはCD 投票のときと同様に元 JST の木村美実子氏に国内専門家として意見を求めている。

### 4) TC46 リスボン meeting week 報告

宮澤委員長と安形委員(SC4 総会のみ)より資料4に基づき、ISO/IEC JTC1/SC34/JWG7(EPUB)会合、ISO/TC46/SC4/WG16(Dublin Core)会合、ISO/TC46/SC4 総会、ISO/TC46/SC9 Principles of Identification 会合、ISO/TC46/SC9/WG5(ISSN) 会合、ISO/TC46/SC9 総会、ISO/TC 46/WG2 会合、ISO/TC46/WG3 会合、ISO/TC46 総会の報告があった。

特記すべき事項として、SC9 総会において、ISO 21047:ISTC(International Standard Text Code)の RA(Registry Agency)が消滅し所在が不明になっていること、ISO 22038(デジタルアーカイブでの権利表示)に関して meeting week 中に WG 会合を開く予定であったが、参加者が少なかったため、キャンセルしたことが報告された。また、TC46 総会において、SC8 の議長の任期が切れていたにも関わらず、事務局である韓国も音信不通になってしまったことの報告があった。

### 5) その他

今年度、経済産業省「今後実施すべき標準化テーマ等に関する調査」に対して、標準開発テーマとして「デジタルアーカイブの検索のためのローマ字化の国際標準化」を標準化調査研究テーマとして「電子書籍の識別子に関する標準化調査」として提出したことが報告された。